

おもしろい狂言をよりおもしろく、分からない能をより分かりやすく。

謡と舞をテーマに能と狂言を対比するという、若手世代だからこそできる試みを幼なじみの二人が披露します。

それぞれの道を歩きながら、10代の頃から願っていた夢がついに実現！

同じ1979年生まれ、古典芸能に生きる、京男たちによる“無限大のパワー”を体感してください。

Profile



能楽師 大蔵流狂言方

茂山 逸平 Ippei Shigeyama

1979年、京都生まれ。父・二世茂山七五三、祖父・四世茂山千作、曾祖父・三世茂山千作に師事。『業平餅』の童にて初舞台(1983年)。1994年には、兄・宗彦、従兄弟の茂と『花形狂言少年隊』を結成。2000年からは、心・技・体、教育的古典狂言推進準備研修磨の会(TOPPA!)を千三郎、正邦、宗彦、茂、童司と共に主催する。2006年9月、文化庁新進芸術家海外研修制度の研修員としてフランス留学のため休業。2007年9月帰国。



能楽師 観世流シテ方

林 宗一郎 Soichiro Hayashi

1979年、京都生まれ。父十三世林喜右衛門及び二十六世観世宗家・観世清和に師事。『鞍馬天狗』の花見にて初舞台(1982年)。2003年10月、観世宗家に内弟子入門。2011年4月、独立を許される。今までに『乱』『石橋』『千歳』を披く。京都や東京など国内外を問わず、また他ジャンルとのコラボレーション公演や能楽普及の為の活動を行っている。今回の「乞巧奠」発案の他、7月31日では林定期能「斑女」を演じる。

Program

【能】	【狂言】	【見所】
■ 神歌 (謡)	■ 揉之段 (舞・笛)	共通点は“神事”。不思議な謡と舞にぜひご注目を。
■ 高砂 (謡・舞)	■ 福の神 (謡・舞)	能と狂言の代表的な“神様”をお見せします。
■ 枕之段 (謡)	■ 鐘の音 (謡)	「謡(うたい)」を通じて、人間の普遍的なテーマ“色恋”について感じてください。
■ 玉之段 (謡・舞)	■ 玉之段 (謡・舞)	能と狂言で同じ題目の謡があるんです。それぞれの違いって??
■ 道明寺 (謡・舞)	■ 道明寺 (謡・舞)	
■ 葛城 (かづらき) (謡)	■ 起き上がり小法師 (謡)	すごく真面目に演じていますが、実はあんなことやこんなことを言っています。
■ 羯鼓 (舞・笛)	■ 羯鼓 (舞・笛)	こちらも同じ題目をセレクト。笛のメロディの違いで舞い方も違って来ますよ。
■ フィナーレは二人で大曲を披露します。当日のお楽しみに！		

Exhibition Place

■ FUNATSURU KYOTO KAMOGAWA RESORT (下京区木屋町通松原上ル)

■ 鉄板焼 四条 竹 (下京区油小路四条上ル)

■ Mars Cafe (下京区堀川五条)

■ TOBARIYA BAR (下京区西洞院塩小路西北角)

<http://www.ustream.tv/channel/1-f-works-event>

※Exhibition Placeでも観覧無料でご覧頂けます・要オーダー

Special Thanks :

森田保美(能楽師 森田流 笛方) あめ細工 吉原/太田製茶/京都たけプロ/極楽堂書店/Sound Design/スプリングショウ/竹中木版 竹笹堂/デザインスタジオエアセンス/富田酒造/横山竹材店/和ろうそく大興

Staff :

大西巧(プロデューサー)/小西潤三・tabo(会場統括)/N(ob)TV(映像ディレクター)/横山裕樹・河原尚子・横谷賢一郎・森愛歩(会場装飾)/太田博文・まちよこ・平松さつき・森愛鐘・ほかゆらぎワークスメンバー(運営サポート)/稲田勇・フクヤマトシキ(Exhibitionサポート)/白川諭・中野弘子・森恵美(広報・WEB)/竹中健司・マクシム中嶋(コーディネーター)

1/f works (ゆらぎワークス)とは:

ゆらぎワークスは、京都をはじめとして滋賀・東京・大阪に広がる文化ユニット。

伝統を守り続ける職人、農家、芸能、アーティスト、経営者、イベンター、ライター、学者、サラリーマンなどあらゆる分野のメンバーが集まり、TRAD & NEO CULTURE を発信し続けています。

1/f WORKSの詳細はこちらから ▶ <http://www.yrg-nippon.org/>

日時: 7月7日(木) OPEN 19:00 START 19:30

開催場所: 京都坊主 BAR bozu-bar.jp/

〒604-8237 京都市中京区油小路通蛸薬師下る山田町 526 番地

Tel: 075-252-3160

チケット料金: 4,000円(1ドリンクつき)

お問い合わせ先: 竹笹堂 (075-353-8585)

